

情婦 (1957)

WITNESS FOR THE PROSECUTION

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス ミステリー

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 117分

初公開日 1958/03/01

公開情報 U A = 松竹

映倫 G

【解説】

アガサ・クリスティが自身の短編小説を基に戯曲化した『検察側の証人』の映画化。ミステリー映画というジャンルの中で、間違いなく最高峰に位置する傑作である。金持ちの未亡人を殺した容疑をかけられたレナード（パワー）は、老齢ながらロンドンきっての敏腕弁護士ロバーツ（ロートン）に弁護を依頼。だが“検察側の証人”として法廷に立ったレナードの妻クリスティーネ（ディートリッヒ）から、思いもかけない証言が発せられた……。ミステリーの解説ほど馬鹿げたものはないので、これ以上ストーリーは語れない。ストーリーだけでも充分面白い作品だが、それだけでは名作には成りえない。ロートン、ディートリッヒ、パワーの芸達者ぶりと、ワイルダーの語り口の上手さがあってこそ、ここまでの完成度を誇る映画となったのだ。それは、82年にTVムービーとしてリメイクされた「検察側の証人」が物語以上の魅力を持ち得なかった事でも明らかであろう。

【クレジット】

監督	ビリー・ワイルダー	Billy Wilder	
製作	アーサー・ホーンブロウ・Jr	Arthur Hornblow Jr.	
原作	アガサ・クリスティ	Agatha Christie	
脚本	ビリー・ワイルダー	Billy Wilder	
	ハリー・カーニッツ	Harry Kurnitz	
撮影	ラッセル・ハーラン	Russell Harlan	
編集	ダニエル・マンデル	Daniel Mandell	
音響	ラルフ・アーサー・ロバーツ	Ralph Arthur Roberts	
音楽	マティ・マルネック	Matty Malneck	
出演	タイロン・パワー	Tyrone Power	レナード・ヴォール
	マレーネ・ディートリッヒ	Marlene Dietrich	クリスティーネ
	チャールズ・ロートン	Charles Laughton	ウィルフリッド・ロバーツ
	エルザ・ランチェスター	Elsa Lanchester	プリムソル
	トリン・サッチャー	Torin Thatcher	マイヤーズ
	ジョン・ウィリアムズ	John Williams	ブローガン・ムーア
	ヘンリー・ダニエル	Henry Daniell	メイヒュー
	イアン・ウルフ	Ian Wolfe	カーター
	ノーマ・ヴァーデン	Norma Varden	エミリー・ジェーン・フレンチ
	ウナ・オコナー	Una O'Connor	ジャネット・マッケンジー
	ルタ・キルモニス	Ruta Kilmonis	ダイアナ